

働き方改革の背景と目的

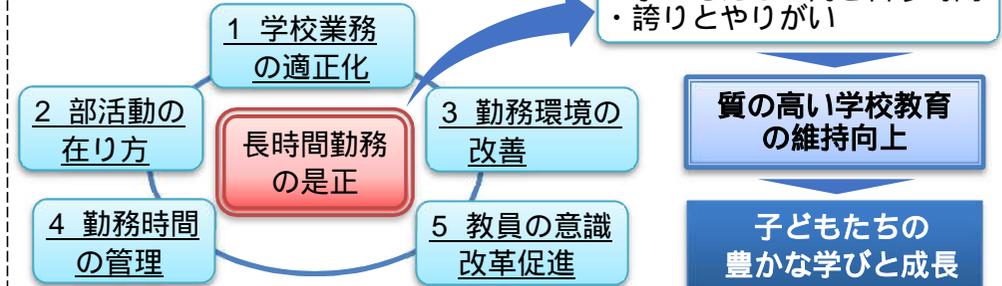
学校の役割が拡大する一方で、多くの教員が長時間勤務を行っている実態が明らかとなっています。区教育委員会では、平成30年10月に本プランを策定し、長時間勤務の是正に向けた取組みを実施しています。

本プランの目的

教員の長時間勤務を是正することで、「心身の健康」「子どもたちと向き合う時間」「誇りとやりがいを持って勤務できる環境」を確保し、質の高い学校教育の維持向上により、子どもたちの豊かな学びと成長を支えていく。
(本プランにおける「学校」の表記には幼稚園を含みます)

取組み方針

長時間勤務の是正に向け、5つの視点から総合的に取組みを進めていきます。



- ・心身の健康
- ・子どもたちと向き合う時間
- ・誇りとやりがい

質の高い学校教育の維持向上

子どもたちの豊かな学びと成長

本プランの改定の趣旨

教育現場の変革

- ・学習指導要領の改訂
- ・GIGA スクール構想
- ・新型コロナウイルス感染症対応

「SDGsの達成 = 共生社会の実現」へ

- ・「ともに生きるまちを目指す条例」(令和3年7月)
- SDGsの目標
- ・「質の高い教育をみんなに」
- ・「働きがいも経済成長も」



成果と課題を検証し、「教員の本来業務以外の業務負担の削減」、「ICTによる業務の効率化」を中心に、より実践的なプランへ改定しました。



本区は内閣府より「SDGs未来都市」に選出されました
(令和3年5月)

教員の時間外勤務の現況

月の時間外勤務が80時間（過労死ライン）を超える教員の割合

	平成29年度都調査		令和元年度	令和2年度	令和3年度
	都全体	区対象校			
小学校	約37.4%	約46.7%	3.3%	6.1%	3.6%
中学校	約68.2%	約66.7%	9.9%	10.0%	8.9%

これまでの取組みの成果と課題

令和3年度働き方改革現況調査結果(抜粋) 全区立学校を対象に毎年実施

- ・学校徴収金の徴収業務を副校長や教員が実施している [32%]
- ・校内でICT活用によるペーパーレス化・会議等の縮減が進んでいる [62%]
- ・スクール・サポート・スタッフを効果的に活用している [94%]
- ・各教員がワーク・ライフ・バランスを意識し、勤務時間が削減されている [43%]

業務の実施主体の整理を進めてきましたが、いまだ教員が本来業務以外の業務（徴収金支払催告等）を負担している現状があります。会議や行事のオンライン開催や統合等が進んでいます。学校ICT環境の整備にあわせて、ICTの効果的な活用への支援が一層求められています。学校を支援する多様な人員を今後も効果的に配置することが必要です。

長時間勤務是正の目標

都教育委員会の目標を共有し、当面の目標を以下のとおり設定します。

月の時間外勤務が80時間を超える教員をゼロにする

都教育委員会が基準とする「週当たりの在校時間60時間」を「月の時間外勤務80時間」に読み替えています。

「勤務時間」とは...学校内外を問わず、職務に従事している時間

「時間外勤務」とは...条例等の「正規の勤務時間」以外での職務への従事

今後の取組み

これまでの取組みの成果と課題を踏まえ、令和8年度（2026年度）までを見据えた取組みを設定し、働き方改革を一層推進していきます。

1 学校業務の適正化

(1)学校徴収金業務の在り方の見直し〔拡充〕

学校徴収金業務の適正化

学校徴収金の公会計化

令和6年度を目途に公会計化し、徴収業務の実施主体の区教育委員会への移行を図ります。

(2)学校施設開放業務の適正化〔拡充〕

学校施設の利用申請の受付等に係る業務軽減業務軽減・効率化に向け検討・整理します。

(3)その他の本来業務以外の負担削減〔拡充〕

児童・生徒・家庭向け事業に係る負担削減

児童・生徒を通じたチラシ配布や、学校教育に関わらない応募・申請業務の削減を図ります。

放課後学校外の児童・生徒事案への対応整理学校の対応の可否等を整理し、周知を図ります。

(4)ICT活用による業務の効率化〔拡充〕

ペーパーレス化の推進

校務システム、HP、タブレット等の活用を促進します。

ICTの活用事例や教材等の共有

ICT活用に係る専門的な支援（ICT支援員）

より効果的なICT活用の検討

活用方法や環境整備について、教育現場や専門家と共に継続的に検討し充実を図ります。

(5)その他の業務軽減・効率化〔継続〕

会議・研修等の精査

学校及び区教育研究会の行事の精査

学校への依頼等の精査

校務改善事例の共有

(6)学校の業務体制の充実〔継続〕

教員の業務支援体制の充実（スクールサポートスタッフ）

学校経営の業務体制の充実（副校長補佐）

学校事務の業務体制の充実（事務補助員）

支援人員の任用管理事務の効率化

関係書類の電子化等について検討・研究します。

スクールソーシャルワーカー派遣の充実

緊急案件・法律案件への対応体制の充実

(7)地域・保護者との共育・協働の充実〔継続〕

地域・保護者との共育・協働の充実

2 部活動の在り方

部活動に係る支援体制の充実〔継続〕

部活動指導に係る支援体制の充実

部活動指導員、外部指導員の活用を促進します。

部活動の適正な在り方への取組み

地域との協働の在り方について研究していきます。

3 勤務環境の改善

(1)心身療養の機会の確保〔継続〕

定時退勤日の設定（毎月1日以上設定）

学校閉庁日の設定（夏季休業中に設定）

休憩時間の確保

効果的な工夫を共有し、取得率の向上を図ります。

(2)効率的な業務に資する環境の充実〔拡充〕

効率的な業務に資する環境の充実

ICTの発展や学校改築等の機会に充実を図ります。

4 勤務時間の管理

(1)勤務時間等のサービス管理の効率化〔拡充〕

勤務時間等のサービス管理の効率化

出勤簿の電子化等、効率的なサービス管理に向け、管理システムの更新等の環境整備を実施します。

(2)長時間勤務教員の状況改善に向けた支援〔継続〕

長時間勤務教員の状況改善に向けた支援

産業医面談と合わせ、改善への支援充実を図ります。

5 教員の意識改革促進

職場風土の醸成と意識啓発〔継続〕

効率的な業務意識の共有

ワークライフバランスを大切にする職場風土の醸成

区教育委員会による意識啓発

取組みの周知と促進

働き方改革の取組みを進め、質の高い学校教育の維持向上を実現していくためには、保護者や地域の方々のご理解とご協力が必要不可欠です。

目的や取組みについて、保護者や地域へ丁寧に周知・説明していくとともに、広く学校関係者のご意見をいただきながら着実に実施していきます。

また、取組みをより実践的・効果的なものとするため、随時、目標の達成状況や取組みの効果を確認・検証し、必要に応じた見直しを図っていきます。